

ハドリアヌス・ユニウス『エンブレム集』¹の版画について

木村三郎

日本大学芸術学部教授

ルーベンス研究で知られた美術史家ルースは、プランタン・モレトゥス博物館の収蔵目録(1920,22)を執筆している。その精緻な記述内容は今日でも一級の価値を持つ。その中に、本書の20世紀における版が引用されていて、そこに書かれた版刻者についての若干の記述は、その後の基本的な資料となっている²。彼の研究を引き継いだ、プランタン商会に関する研究で知られる研究者ウトは、このエンブレム集(寓意図像集)のための版木がプランタン博物館に所蔵されていることを指摘している³。

たとえば、EMBLEMA Iでは、図柄の周辺を取り囲む部分に連続した装飾文様を確認できる。それらは、直径5mm程度の半円を基本にし、その中に唐草紋をはめ込んだものである。この手法は、ヴィーリクスをはじめとした、アントウェルペン周辺の版画家たちがしばしば使用したモチーフである。版画自体は、縦横で6.3 X 6.3cmの寸法で、その中に、5.6

1 凡例・*：日本大学芸術学部図書館所蔵

寸法 16cm x 10.5 cm であり、全 152 頁；タイトルを含む書誌事項を要約すると、著者名(HADRIANI//IVNII MEDICI//EMBLEMATA)、出版地(ANTVERPIAE)、出版業者(Ex ohhicina Christophori Plantini)、刊行年(M.D.LXV.)が記述されている。次のページに序文が入るが、[...]HOLLANDIAE MERITISSIMO//HADR.IVNNIVS MEDICVS[...]の記述がある。

なお、序文末には、IO. SAMBVCVS HADR.//IVNIO SVO. S[...]Antuerpiae,IIII,Idus//Februarij.Anno M.D.LXIII.の記述も確認することができる。また、序文が、刊行(1565)の前年に書かれたことが知られる。

² (1920)1922 ROOSES,p.113

³ 下記の、1980-83 VOET。なお、入手できた、プランタン刊行のエンブレム・ブックについての、戦後の主要な文献では、1969 VOET(L.),*The Golden Compasses*,Vangendt,Routledge,A. Schram, I(1969), p.362-395* (詳細な情報がある)

1980-83 VOET(L.),*The Plantin Press(1555-1589),a Bibliography of the Works Printed and Published by Christopher Plantin at Antwerp and Leiden*, Amsterdam, Van Hoeve, 1980-83,in collaboration with VOET-GRISOLLE(J.),III(1981),p.1273-1274 (日本大学総合学術情報センター所蔵)(書誌学、個々の版画分析に関して、圧倒的で精緻な情報がある)

1988 LANDWEHR(J.),*Emblem and Fable Books Printed in the Low Countries 1542-1813 : a Bibliography*,3rd rev. and augm. ed.,HES,no.398,p.155*

cm 程度の四角が描かれ、寓意に関わる図柄が認められる。

ヴトは、この図書の挿絵に関わる数名の画家、版画家の名称も指摘している。下絵素描は、パリの画家バランが 52 点を担当し、アントウェルペンの画家ハイスが、残りの 6 点を引き継いだ⁴。

バランとは、BALLAIN (Gedefroy) のことであろうと思われる。フランドル出身でパリにもいた挿絵画家で、1564 から 67 年にかけて、プランタン商会のための木版の下絵素描を行っている。1566 年に制作した 72 点の木版も指摘されている。1567 年には新約聖書の挿絵を描いたとされるが知られている資料は少ない⁵。

それに比べると、ハイス HUYS(Pieter) (1520 年アントウェルペンに生まれ、1584 年同地で逝去) は、知られた画家・版画家である。画家としての作品には、ルーヴル美術館に、1547 年の年記と署名が認められる《聖アントニウスの誘惑》⁶がある。また、メトロポリタン美術館にも同名の作品がある⁷。双方とも、この時代のフランドルで流行した主題であり、H・ボスの描いた同名作品 (1505-10 年頃、リスボン国立美術館蔵) との関連性が感じられる⁸。

版画に関しては、文献からは、12 点のエンブレイヴィングが確認できる⁹。様式上の傾向は、フランドルの著名な版画家ヴィーリクス一族に近く、「キリストの生涯」を含む宗教図像も手がけていたことがわかる。

一方で、版刻者は、大半を、ファン・カンブレン (G. J. van Kampen) ¹⁰ が担当し、ニコライ (A. Nicolai) が、4~5 点である。58 点の作品のうち、57 点は彫られたが、57 は、

⁴ 前掲書 1980-83 VOET,実際にどの版画が、バラン、あるいは、ハイスの版刻であるかは、定かではない。

⁵ *Sauer Allgemeines Künstler-Lexikon*, 1992, K. G. Saur, VI, p.479.* 表記は、BALLAIN、あるいは Balin, Balling

⁶ HUYS(P.), *La Tentation de saint Antoine*, ルーヴル美術館蔵、69.5 X 102.5 cm, 板絵、署名と年記、16 世紀後半、RF 3936 作品は、
http://www.culture.gouv.fr/Wave/image/joconde/0001/m503604_82ee1099_p.jpg
BREJON DE LAVERGNEE(A.), FOUCCART(J.), REYNAUD(N.), *Ecoles flamande et hollandaise, catalogue sommaire illustré des peintures du Musée du Louvre*, 1979, RMN, p.71

⁷ 板絵、109.2 x 149.9 cm,

http://metmuseum.org/Collections/search-the-collections/110001145?rndkey=20120713&ft=*&when=A.D.+1400-1600

⁸ RICHARDSON(E.P.), 《Pieter Huys》, *Bulletin of the Detroit Institute of Arts of the City of Detroit*, 1938, Vol.17, No.6, March, p.52-54

⁹ PETERS(J.S.), (ed.), *German Masters of the Sixteenth Century*, 1982, Abaris Books, Coll.The Illustrated Bartsch(W. L. Strauss), 18, p.28-39; 大英博物館の、Collection database search では、百数十点、フランス国立図書館版画室の Banque d'images には、6 点の作品が認められる。

¹⁰ (1920)22 ROOSES, p.108, 109, 113

サンブクス (Sambucus) 11作のエンブレムブック(1564年)に使われているものである。

資料・ユニウスの生涯と著作についての書誌の中の資料(19世紀以前)

(1674)1759 MORRERI,L.,*Le grand dictionnaire historique*, A Paris,Chez les Libraires Associés,IV,p.499 *

(1696-97)1820-1824 BAYLE,P.,*Dictionnaire historique et critique*, ,Nouv.éd.,Genève;復刻版 Slatkine,1969,VIII,p.476-481*生涯についての詳細な記述。この時点の初版における記述は未確認だが、ここでは、17世紀末の情報として扱っておきたい。

1858 R-R(de Chartres),in HOEFFER(J.),*Nouvelle biographie générale*,Paris,F.Didot Frère et Fils,XXVII,p.247-247* (生涯についての若干の記述)

1862 BRUNET(J.-C.),*Manuel du libraire et de l'amateur de livres*,Paris,F.Didot,III;Slatkine Reprints,1990,p.600* (1569,1575年版を引用)

1862 GRAESSE(J.G.T.),*Trésor de livres rares et précieux, ou nouveau dictionnaire bibliographique*,Dresde,R. Kuntze;復刻版 Slatkine,1993,III,p.499* (1569,1575年版を引用)

1873 LAROUSSE(P.), *Grand dictionnaire universel du XIXe siècle*, Paris, Larousse, 1873, IX,p,1111* (著作リスト)

(1920)1922 ROOSES(M.),*Catalogue du Musée Plantin-Moretus*,Buerbaum-Van der Goten,p.113(no.7-8)

1981 *Grote Winkler Prins Encyclopedie*,Elsvier,XII,p.386 (20世紀の資料であるが、ユニウスの刊行物、関連文献が有用)

¹¹ Sambucus (Joannes) については、やはりグラスゴー大学の下記の HP を参照されたい。
<http://www.emblems.arts.gla.ac.uk/french/books.php?id=FSAb>